

# 令和5年度「教員等の出退勤時刻実態調査結果」【データ編】

## 1 調査方法等

### (1) 調査対象教職員

校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手、講師  
※フルタイム勤務職員全員

### (2) 調査期間

令和5年11月1日（水）から11月30日（木）までの1か月間  
※今年度の調査は1回となります。

### (3) 調査対象校

県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校  
※千葉市立の学校及び市立高等学校を除く

### (4) 調査の実施方法

#### ①市町村立学校

市町村立の小学校、中学校、義務教育学校及び市立特別支援学校においては、各市町村教育委員会が管下の教職員の実態をそれぞれの方法で把握し、当該月の平日及び土日における各出退勤時刻、在校等時間、当該月の時間外在校等時間を取りまとめ、各教育事務所を通して県教育委員会に報告する。

#### ②県立学校

県立の中学校、高等学校及び特別支援学校においては、ICカード式タイムレコーダ及び管理システムを活用して出退勤時刻を記録し、対象職員の当該月の平日及び土日における在校等時間、当該月の時間外在校等時間を管理職が取りまとめて県教育委員会に報告する。

## 2 調査結果について

### (1) 全校種（市町村立学校、県立学校）

#### ①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教諭等の割合

| 職種（調査時期）    | 小学校   | 中学校   | 義務教育学校 | 高等学校  | 特別支援学校 |
|-------------|-------|-------|--------|-------|--------|
| 教諭等（R5.11月） | 39.9% | 53.7% | 46.1%  | 26.8% | 8.2%   |
| 教諭等（R4.11月） | 47.0% | 58.9% | 56.3%  | 29.3% | 10.1%  |

※「教諭等」：主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手及び講師

教諭等における全校種の平均 **37.2%**（前年同月：42.4%）

#### ②月当たりの時間外在校等時間（校種別）

| 職種（調査時期）    | 小学校     | 中学校     | 義務教育学校  | 高等学校    | 特別支援学校  |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 教諭等（R5.11月） | 40時間46分 | 54時間43分 | 44時間24分 | 35時間00分 | 25時間10分 |
| 教諭等（R4.11月） | 44時間05分 | 55時間39分 | 49時間14分 | 36時間43分 | 26時間19分 |

教諭等における全校種の平均 **41時間21分**（前年同月：43時間33分）

## 在校等時間の求め方

$$\text{在校等時間} = \text{在校している時間} + \text{①及び②} - \text{③及び④}$$

- ① … 校外において職務として行う研修や児童生徒の引率等の職務に従事している時間
- ② … 地方公共団体が定めるテレワークの時間
- ③ … 勤務時間外における自己研鑽及び業務外の時間（教職員からの自己申告による）
- ④ … 休憩時間

### 【調査結果の概要から】

- 月当たりの時間外在校等時間が4.5時間を超える教諭等の割合について、全校種で減少し、全校種の平均が37.2%と前年度から5.2%減少した。
- 月当たりの時間外在校等時間について、教諭等における全校種の平均は4.1時間2.1分であり、前年度より改善されたものの、県の目標である「4.5時間を超えないようにする」を3時間3.9分減少していた。
- 各学校における業務改善、支援スタッフの配置、職員の意識改革等の取組の成果によるものと推察される。

## (2) 市町村立学校（小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校）

### ①月当たりの時間外在校等時間が4.5時間を超える者の割合

| 職種（調査時期）       | 小学校   | 中学校   | 義務教育学校  | 特別支援学校 |
|----------------|-------|-------|---------|--------|
| 校長（R5.11月）     | 28.3% | 21.5% | [75%]   | [0.0%] |
| 〃（R4.11月）      | 33.0% | 24.3% | [75%]   | [0.0%] |
| 副校長・教頭（R5.11月） | 81.8% | 74.9% | [81.8%] | [100%] |
| 〃（R4.11月）      | 83.6% | 83.5% | [100%]  | [80%]  |
| 教諭等（R5.11月）    | 39.9% | 53.7% | 46.1%   | 19.0%  |
| 〃（R4.11月）      | 47.0% | 59.0% | 56.3%   | 21.5%  |

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における市町村立学校全体の平均 **44.6%**（前年同月：51.1%）

### ②月当たりの時間外在校等時間

| 職種（調査時期）       | 小学校     | 中学校     | 義務教育学校    | 特別支援学校    |
|----------------|---------|---------|-----------|-----------|
| 校長（R5.11月）     | 38時間40分 | 34時間12分 | [56時間51分] | [32時間38分] |
| 〃（R4.11月）      | 39時間16分 | 35時間15分 | [57時間30分] | [51時間32分] |
| 副校長・教頭（R5.11月） | 65時間33分 | 63時間51分 | [59時間52分] | [62時間31分] |
| 〃（R4.11月）      | 65時間18分 | 64時間28分 | [74時間55分] | [59時間45分] |
| 教諭等（R5.11月）    | 40時間46分 | 54時間44分 | 44時間24分   | 29時間38分   |
| 〃（R4.11月）      | 44時間05分 | 55時間42分 | 49時間14分   | 27時間55分   |

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における市町村立学校全体の平均 **45時間39分**

（前年同月：48時間07分）

### ③月当たりの時間外在校等時間が80時間を超える者の割合

| 職種（調査時期）       | 小学校   | 中学校   | 義務教育学校  | 特別支援学校  |
|----------------|-------|-------|---------|---------|
| 校長（R5.11月）     | 2.5%  | 1.0%  | [25.0%] | [0%]    |
| 〃（R4.11月）      | 1.3%  | 1.3%  | [0%]    | [0%]    |
| 副校長・教頭（R5.11月） | 19.1% | 22.4% | [0%]    | [20.0%] |
| 〃（R4.11月）      | 20.5% | 21.6% | [36.4%] | [20.0%] |
| 教諭等（R5.11月）    | 2.7%  | 17.7% | 2.1%    | 0%      |
| 〃（R4.11月）      | 4.4%  | 20.5% | 10.6%   | 0%      |

※〔 〕は母数が少ないため参考値

### ④平日における1日当たりの時間外在校等時間

| 職種（調査時期）       | 小学校    | 中学校    | 義務教育学校   | 特別支援学校   |
|----------------|--------|--------|----------|----------|
| 校長（R5.11月）     | 1時間57分 | 1時間39分 | [2時間49分] | [1時間42分] |
| 副校長・教頭（R5.11月） | 3時間16分 | 2時間58分 | [3時間27分] | [3時間15分] |
| 教諭等（R5.11月）    | 2時間02分 | 2時間18分 | 2時間21分   | 1時間01分   |

※7時間45分を超えた在校等時間を算出

※〔 〕は母数が少ないため参考値

### ⑤土・日曜日の1日当たりの在校等時間（振替休日含む）

| 職種（調査時期）       | 小学校    | 中学校    | 義務教育学校   | 特別支援学校   |
|----------------|--------|--------|----------|----------|
| 校長（R5.11月）     | 0時間09分 | 0時間14分 | [0時間40分] | [0時間00分] |
| 副校長・教頭（R5.11月） | 0時間21分 | 0時間44分 | [0時間44分] | [0時間05分] |
| 教諭等（R5.11月）    | 0時間08分 | 1時間07分 | 0時間35分   | 0時間00分   |

※〔 〕は母数が少ないため参考値

#### 【市町村立学校について】

- 「①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合」は、教諭等において全校種の平均が44.6%と前年同月より大幅に減少した。しかし、中学校においては依然として50%を超えている。
- 「②月当たりの時間外在校等時間」における教諭等の全校種の平均が前年同月と比べ2時間28分減少したものの依然として45時間を超えている。
- 「③月当たりの時間外在校等時間が80時間を超えている者の割合」は教諭等においては減少しているものの、管理職においては微減あるいは増加している。管理職、特に副校長・教頭の負担軽減に向けた対策が必要である。
- 「⑤土・日曜日の1日当たりの在校等時間」は大幅に減少し、働き方改革の意識が高まるとともに、業務改善が進んでいるものと推察できる。
- 市町村立学校においては各市町村独自の取り組み等もあり、全体的に働き方改革が進んでいることが見て取れる。各学校の優れた取組を好事例として県教育委員会のホームページに掲載するとともに、各市町村教委や学校への訪問、各種会議等でも紹介し、共有・周知し学校における働き方改革の一層の推進を図る。

(3) 県立学校（中学校、高等学校、特別支援学校）

①月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える者の割合

| 職種（調査時期）       | 中学校    | 高等学校  | 特別支援学校 |
|----------------|--------|-------|--------|
| 校長（R5.11月）     | —      | 9.2%  | 5.4%   |
| 〃（R4.11月）      | —      | 11.7% | 2.7%   |
| 副校長・教頭（R5.11月） | [100%] | 54.3% | 82.8%  |
| 〃（R4.11月）      | [100%] | 51.5% | 70.3%  |
| 教諭等（R5.11月）    | 52.8%  | 26.8% | 7.4%   |
| 〃（R4.11月）      | 35.3%  | 29.3% | 9.3%   |

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における県立学校全体の平均 **20.3%**（前年同月：22.6%）

②月当たりの時間外在校等時間

| 職種（調査時期）       | 中学校       | 高等学校    | 特別支援学校  |
|----------------|-----------|---------|---------|
| 校長（R5.11月）     | —         | 26時間22分 | 25時間53分 |
| 〃（R4.11月）      | —         | 26時間58分 | 28時間14分 |
| 副校長・教頭（R5.11月） | [69時間47分] | 52時間48分 | 62時間04分 |
| 〃（R4.11月）      | [60時間47分] | 54時間13分 | 59時間32分 |
| 教諭等（R5.11月）    | 51時間24分   | 35時間00分 | 24時間51分 |
| 〃（R4.11月）      | 45時間32分   | 36時間43分 | 26時間13分 |

※〔 〕は母数が少ないため参考値

教諭等における県立学校全体の平均 **31時間37分**

（前年同月：33時間14分）

③月当たりの時間外在校等時間を80時間を超える者の割合

| 職種（調査時期）       | 中学校  | 高等学校 | 特別支援学校 |
|----------------|------|------|--------|
| 校長（R5.11月）     | —    | 0%   | 0%     |
| 〃（R4.11月）      | —    | 0%   | 0%     |
| 副校長・教頭（R5.11月） | [0%] | 7.4% | 3.1%   |
| 〃（R4.11月）      | [0%] | 5.5% | 6.3%   |
| 教諭等（R5.11月）    | 8.3% | 5.1% | 0%     |
| 〃（R4.11月）      | 5.9% | 5.9% | 0%（1名） |

※〔 〕は母数が少ないため参考値

④平日における1日当たりの時間外在校等時間

| 職種（調査時期）       | 中学校      | 高等学校   | 特別支援学校 |
|----------------|----------|--------|--------|
| 校長（R5.11月）     | —        | 1時間04分 | 1時間13分 |
| 副校長・教頭（R5.11月） | [3時間28分] | 2時間28分 | 2時間59分 |
| 教諭等（R5.11月）    | 2時間48分   | 1時間22分 | 1時間10分 |

※7時間45分を超えた在校等時間を算出

※〔 〕は母数が少ないため参考値

⑤土・日曜日の1日当たりの在校等時間（振替休日含む）

| 職種（調査時期）       | 中学校      | 高等学校   | 特別支援学校 |
|----------------|----------|--------|--------|
| 校長（R5.11月）     | —        | 0時間27分 | 0時間07分 |
| 副校長・教頭（R5.11月） | [0時間00分] | 0時間21分 | 0時間12分 |
| 教諭等（R5.11月）    | 0時間57分   | 0時間45分 | 0時間06分 |

※ [ ] は母数が少ないため参考値

【県立学校について】

- 教諭等の「②月当たりの時間外在校等時間」の平均は31時間37分であり、県の目標及び「学校職員の勤務時間等に関する規則」で規定された、月当たりの時間外在校等時間45時間以内を下回っているが、45時間を超える者や80時間を超えている者も減少傾向ながらも存在することから、今後も更なる取組を推進していく。
- 県立中学校における教諭等の時間外在校等時間が増えている原因の一つとして、人事異動による着任1年目の教諭において、特に増加傾向にあり、対応を検討する必要がある。
- 県立学校においても副校長・教頭の時間外在校等時間が多く、45時間を超える者の割合が増加するとともに、高等学校の副校長・教頭においては80時間を超える者の割合も増加し、負担軽減が喫緊の課題である。
- 教育委員会としては、副校長・教頭に係る調査・報告の削減及び軽減や、ICTによる業務の効率化を目指し、負担軽減を図っていくとともに、各学校の好事例を紹介・周知するなど、具体的な支援を行っていく。